



# 中央ウェイ

# 3月号

## ～卒業・修了を迎えるみなさんへ～

校長 木村 利男

3月に入り今年度のまとめの時期となりました。

3月17日（金）は高等部、3月23日（木）は中学部卒業式がそれぞれ予定されています。

高等部卒業生21名、中学部卒業生18名の皆さん、御卒業おめでとうございます。

高等部卒業生の皆さんは、12年間の学校生活を終え、これから社会へと羽ばたいていきます。学校生活の中で、仲間を見つけ、互いに支え合う関係・絆をつくり、夢や希望をもち、それを実現するために努力を積み重ねてきました。

高等部の3年間、新型コロナの影響で多くの行事が延期や中止となりました。そうした中において、皆さんは、希望する進路の実現に向け、学習に部活動に一所懸命取り組み、自らの目標達成に努力しました。これからは、本校で学んだことを土台として、「笑顔」と「思いやり」の気持ちを大切にして、それぞれの道をしっかりと歩んでいってください。応援しています。

中学部卒業生の皆さんは、引き続き高等部で学習を積み重ね、本校で大切にしている3つのC+1 Creation(創造) Challenge(挑戦) Courage(勇気) + Communication(伝達)を大切に、学校生活を継続してください。自分を大切にそして仲間も大切に、お互いのコミュニケーションも大事に、自分自身に自信をもって、今後、活躍されることを期待しています。

さて、今、時代が目まぐるしく変化しているように思います。その渦中にいると、時代の節目だということに気づくことができず、その後何年か経ち、実はあの時が時代の変換期だったと知ることになるかもしれません。まさにコロナ禍により様々な場面において対応が大きく変化してきています。変化はいつの時代にも起こり、今に始まったことではありません。いつの時代においても、生き残るのは「強いもの」ではなく、「変化に対応できるもの」と言われています。常に変化に敏感に対応し、未来志向で行動していきましょう。目の前にある壁やハードルを新しい扉や目標として位置づけ、扉を開け、ハードルを越えた先に、これまで見えなかった世界が開けていると信じて取組んでいきましょう。

夢をもち、日々、夢を実現するために努力をしてください。夢は見るものではなく、叶えるものです。夢は思っているだけではかないません。自ら行動することが必要です。さあ、一步踏み出して夢の実現に向け、コツコツ頑張ってください。周りの方々は必ず応援してくれます。

「誰もがみな人生の主人公、一步一步確実に、進んでいきましょう!!!」

卒業生の皆さん卒業おめでとう。在校生の皆さん次年度も本校で頑張ろう。

今年度一年間ありがとうございました。次年度もよろしくお願いいたします。

# 学校での様子



## 1月31日(火)～2月3日(金) 5年修学旅行

5年は修学旅行で神戸・広島方面を訪れました。神戸では実際に震災を経験した方からお話を伺ったり、避難所で起こり得る問題とは何かを考えたりしました。また、広島では平和公園で献花、誓いの言葉を述べた後、平和記念館を見学しました。生徒たちは一つの展示を食い入るように見ていました。修学旅行から帰ってきてからも、広島で考えたことを文章に表すなど、「自分事」として考え続けています。厳島神社や鞆の浦では自然の美しさに感動し、友人と寝食を共にして語らう楽しさに心躍る時間もあり、充実した4日間でした。



## 2月3日(金) 1年校外学習

今回のテーマは「実際に見て・体験して学ぶ」です。国立科学博物館と上野動物園では、社会科や理科での学びについて、実物を見て理解を深めることができました。また、藍染を体験し、その歴史や文化を体感することもできました。来年度の移動教室に向けた見通しをもつことも、今回の校外学習の目的の一つです。事前学習としてクラス別に行程計画を立て、時間に気を配りながら行動することができました。





### 2月7日（火） 中学部読書発表会

2月7日（火）に、中学部読書発表会を体育館にて開催しました。去年、一昨年は感染症対策として、予め撮影した発表動画を各教室で視聴するオンデマンド方式で行ったのですが、今年度は、全学年の生徒にとって初めての一堂に会しての読書発表会となりました。

どの発表者もパワーポイント操作など、クラス内での協力を得ながら熱のこもった発表を行い、聞いている生徒たちもとても集中している様子でした。

### 2月14日（火） 高等部読書発表会

昨年の読書発表会はオンデマンドでの開催でしたが、今年は対面での開催となりました。発表者が読んだ本は、小説、評論や、エッセイと多岐にわたりました。本を読み、そこから自分は何を考えたのか、発表者一人一人が自分なりの切り口で語る言葉に、見ている側も引き込まれ、充実した時間となりました。生徒からは、読書発表会で紹介された本を読みたい、問題提起された事柄についてもっと知りたいなど意欲的な感想が多数寄せられました。

